

無塗装の美…山口県の角島灯台とそっくり

アードナマルカン灯台 (イギリス)

本当によく似ている……。この灯台はグレートブリテン島（イギリス本島）の最西端、スコットランドのアードナマルカン半島先端に立つ灯台だ。それが山口県の角島灯台とそっくりなのだ。角島灯台は日本で数少ない無塗装の灯台で、花崗岩の風合いが美しい。スコットランドでも無塗装の灯台は珍しく、多くの灯台は白く塗装され、ドーム屋根は黒く、踊り場部分と窓枠は金色に塗られている。

この灯台は角島灯台よりも27年早い1849年に建てられた。塔高は6mほど高いが、踊り場下の意匠は全く同じに見える。その理由については、角島灯台をはじめ日本で約30基の灯台を建設した「日本の灯台の

父」と呼ばれるR.H. ブラントンがスコットランド出身だということ。そしてアードナマルカン灯台を設計したアラン・スティーブンソンは、ブラントンの師匠筋にあたり（実際に指導したのはアランの2人の弟）、強い影響があったことが想像できる。

角島灯台と同じく見学可能な灯台として公開され、展示室も設けられている。日本から遠く離れた場所の異国の灯台に共通点を見つけ出すのは面白い。灯台内で監視役のスタッフさんに話しかけてみたが、残念ながらブラントンのことは知らなかった。私が「150年前に日本に来て、この灯台とそっくりな灯台を建ててくれた。今でもとても愛されている灯台なんだ」と話すと、いつか行ってみたいと言ってくれた。本当に来てくれるといいな。

そっくり



アードナマルカン灯台